

子どもの学習支援と若者自立サポート事業

生活困窮世帯や生活保護世帯の中学生や高校生を対象に、週1回の勉強会や進路相談を行うほか、身近な相談相手となることで子供たちの学習意欲の向上や社会性の育成に向けた支援を行います。

また、商店街の空き店舗等を活用して、不登校、高校中退者や定時制、通信制高校に通う子供たちを支援するための居場所を設置し、学習支援のほか、コミュニケーション能力の向上、社会性の育成に向けた支援などを行います。

全日制高校などへの進学を促進、ひきこもりや中退にならないよう高校就学の維持、進路についての支援

ありのままでいられる居場所を確保し、学習支援・学び直しの支援を行うとともに、社会性や他者との関係を育む支援や就労支援などを推進

中学生～若者（30歳代）までの継続的な支援

若者すだち支援事業 (中学生・高校生への学習支援)



勉強会

- ・元中学校教員がコーディネーター
- ・大学生ボランティアがマンツーマンで支援（ロールモデルに）
- ・職員も参加



夏合宿

その他、じゃがいも掘り、さつまいも掘り、餅つき、クリスマス会、七夕などを実施

写真の掲載に当たっては、個人からの了承を得ています。

若者の居場所づくり

(ホッとスペース)

商店街の空き店舗等を活用し、対象者の居場所（拠点）を確保

主に、高校生や若者の居場所として、相談支援、学習支援や学びなおし、商店会等との協働によるボランティア活動などへの参加により、様々な困難を抱える若者の社会性やコミュニケーションを身につけるための幅広い生活自立支援を推進します。

- ・ 食事づくり
 - ・ 宿題、レポート作成などの勉強
 - ・ つまづいていた教科の学びなおし
 - ・ 職業体験やボランティア活動
 - ・ 進路、恋愛、友達関係などの相談
 - ・ 将来の就職に向けた準備
- ・・・など



居場所内観



学びなおし、レポート作成



商店街での活動



クッキーづくり